



▲五和町の魅力が満載の「五和観光ガイドブック」

五和の魅力再発見！

五和観光ガイドブックを発行
市五和支所ではこのほど、五和町の見どころや地元の特産品、まちづくり活動などを紹介する「五和観光ガイドブック」を発行しました。昨年8月から9月にかけて行ったインターン事業で同町を訪れた、首都圏の大学生のアイデアを取り入れながら制作したもので、同支所や市内の観光施設などで配布していますので、皆さんぜひご覧ください。同ガイドブックについての詳細は、五和支所・まちづくり推進課 ☎01111へ。

信頼・絆・ネットワークについて学ぶ

ソーシャルキャピタル国際フォーラム
5月17日、ソーシャルキャピタル国際フォーラムが天草市民センター展示ホールで開催されました。ソーシャルキャピタルとは、信頼や絆、ネットワークなどの社会関係資本のことをいいます。京都大学経営管理大学院教授の小林潔司氏とスウェーデン王立工科大学教授のウエストランド・ハンス氏による講演が行われたほか、「ソーシャルキャピタルに係る地域づくり」と題したパネルディスカッションも行われ、参加者は熱心に聞き入っていました。



▲講演を行うハンス氏

矢筈嶽登山にチャレンジしませんか

矢筈嶽登山道開通式典

4月30日、市で2番目に高い倉岳町の矢筈嶽(626m)山頂を旨ざす新しい登山道が開通しました。以前はあったとされる登山道を再整備したもので、全長3.3km。登山口が、海に近い棚底諏訪神社前の海拔0m地点に設けられているのが特徴です。

この日は、開通式典で神事が行われたほか、開通記念登山が実施され、地元の登山愛好家など20人が参加。参加者は近くの海に足を付けて登山靴を清めた後、思いおもいのペースで新しい登山ルートを楽しんでいました。



▲海拔0m登山口で記念撮影する参加者

身近にある自然のすばらしさを感じて

国立公園80周年記念 天草の自然写真展

4月20日から5月19日まで、天草キリシタン館で「天草の自然写真展」が開かれました。同館が、来年3月に雲仙天草国立公園が指定されてから80年を迎えることを記念して開催したもので、会場には、五和町の二江沖に生息するミナミハンドウイルカや天草町の妙見浦のほか、水中写真家の中野誠志さん(宇城市)が撮影した海中写真など約50点を展示。来場者は、自然豊かな天草の写真に見入っていました。



▲写真を鑑賞する来場者



▲ていねいに田植えを行う児童たち

たくさん実りますように！

浦和小学校児童・田植え体験

有明町の浦和小学校5・6年生37人が4月11日、もち米の田植えを体験しました。児童たちは、地元の農家の人から苗の植え方などの指導を受けた後、田んぼのぬかるみに足をとられてどろんこになりながら、苗をていねいに植えていました。

田植えを終えた児童たちは、「苗の一本いっぽんを大切に植えたよ」「たくさん実っておいしいおもちにして食べたい」と元気いっばいに話していました。

防災意識の向上を目指して！

天草市総合防災訓練

5月12日、「天草市総合防災訓練」が河浦総合運動場を主会場に行われ、市消防団員、地元住民など約600人が参加しました。

訓練は、大雨の影響で天草市西部に土砂災害警戒情報が発表され、地すべりにより家屋の損壊、多数の人的被害が発生したとの想定で実施。災害対策本部や応急救護所の設置、孤立バス乗客の救助などの訓練を行いました。参加者は救助作業など、真剣な表情で取り組んでいました。



▲孤立バス救助訓練で救助される小学生たち